

## パシフィックコンサルタンツ株式会社

所在地：東京都多摩市 業種：技術サービス業  
 設立：1951年 社員数：1,627名(うち女性235名)

### 取組のきっかけ

同社の主要な業務は公共事業のため、毎年、年度末の1~3月に業務が集中し、また急な顧客からの要望への対応等も多く、長時間残業となりがちであることが、以前からの課題でした。これまでも、管理センターの手法で残業削減に取り組みましたが、芳しい効果は得られずにいたところ、労働組合側から、ワーク・ライフ・バランスについて外部講師を招いて講演会を行う提案があり、実施しました。

外部講師の話の中で、「時間当たりの生産性」という言葉を聞き、これまで「良い成果を出すためには時間がかかる」ことが共通の認識とされていましたが、社員の生活と仕事の調和を図るため、長時間残業を削減し、今後は「限られた時間の中で成果を上げる」という視点を取り入れることとしました。

### 具体的なワーク・ライフ・バランスの取組

- ・[WLB888(トリプルエイト)プロジェクト\*]: 働き方の見直しプロジェクト。まずはパイロットプロジェクトとしてグループ単位で自主的に働き方の見直し、改善に取り組み、進捗状況の報告と成果報告を社内広報。
- ・長時間残業削減: 長時間労働削減のための施策を実施している組織を社内公募し、優れた事例を表彰。
- ・ノー残業デーの実施: 従来から設定されていた毎週水曜日のノー残業デーをより強化。
- ・ファミリーデー(従業員の家族を職場に招待する日)の開催。
- ・スタンディング会議、テレビ会議等の実施。等

\*「仕事のための8時間、自分と家族のための8時間、健康のための8時間」のメリハリの利いた生活、活力溢れる会社を実現するためのプロジェクト。現在の1日24時間を見直す意味で敢えて名付けた。

### ワーク・ライフ・バランス浸透・定着のための取組

働き方の見直し・改善については、会社の風土等を踏まえ、上から押し付ける形でなく、自ら考えて取り組む形とすることにより、社員の自主的な活動を促しました。一方、各グループでの取組について進捗管理し、成果を可視化するため、「完成高/総労働時間」指数で計り、社内表彰等における指標の1つ

としました。

ノー残業デーを徹底するため、予め顧客には周知をした上で、ノー残業デーの時間外電話は自動アナウンスが流れるように設定しています。

### 経営層・管理職等の働きかけ

社長は年始の挨拶、研修の冒頭挨拶等、機会を見つけて都度、時間当たり生産性を向上することの重要性を強調しています。また、ノー残業デーのポスターに社長や本部長の写真を掲載する等、会社としての重要な取組であることを多面的に示しています。

管理職には、長時間労働のリスクやタイムマネジメントの重要性等について重点的に研修を行っています。

### 取組による具体的な効果

業界に先駆けた活動が多くメディア等に掲載され、評価されることにより、社員の取組への肯定感も高まりました。

パイロットプロジェクトでも多くのグループが効果を実感した「朝メール」「報告メール」(入社時に自分の1日の業務スケジュールを、帰社時に1日の成果や業務の状況等をグループにメールで配信し、自らの状況を共有する仕組み)は、その後多くの部門に展開されています。

同社の社長は、業界全体を改善して行くことが必要と考え、積極的に講演を行ったり、業界団体に働き掛けることにより、ノー残業デーの取組は、業界内に広がっています。

業務改善の取組により、同社では売り上げは増加しても残業時間は減少傾向にあり、売上を落とさずに生産性を向上させられることが実証されました。



ファミリーデーの写真



ノー残業デーのポスター